

芳賀町への義援金 ありがとうございました

ト ラ ッ ツ テ リ ア マンマ 様 10,730円
栃木県街商協同組合 様 30,000円
栃木照る照る坊主の会 様 179,200円
宇都宮餃子館 様 25,040円
宇都宮力クテル俱楽部 様 200,000円
ひばりカード加盟店一同 様 175,174円
シダックス株 様 50,000円
ほか多くの皆さまからもご寄付いただき、現在までで
合計9,252,490円の義援金をお預かりしました。
皆さま、ありがとうございました。

(8月18日現在・寄付順)

消防団第2分団が被災地支援

7月25日、岩手県大船渡市の市民文化会館を町消防団第2分団の13人が訪問し、スポーツドリンク35箱を贈りました。避難者の皆さんは7月中に退去できる予定でしたが、仮設住宅の建設が遅れるため、まだ避難所生活が続くため、まだ避難所生活が続くようです。また避難者から「もう肉体的にも精神的にも疲れている人が多いです」と4ヶ月以上にわたる避難所生活の苦労を伺いました。この後、被災した大船渡市を視察しました。



芳賀ラーメンフェスティバル

7月18日、道の駅はがで県内のラーメン店店主の研究グループ「照る照る坊主の会」が、ラーメンフェスティバルを開催しました。目的は、多くの人にラーメンを通じて芳賀町のことを知つてもらい、震災の影響が大きかつた町への支援を行うこと。当日は、多くの人が猛暑の中行列を作り、用意した約700食が完売となりました。益金179,200円は、町へ義援金として寄付していただきました。



芳賀郡社会体育功劳者表彰 ソフトテニスの指導者 鮎田さん

8月7日、鮎田健司さん

(下高根沢)が芳賀郡体育協会長から社会体育功劳者表彰を受けました。

鮎田さんはソフトテニスを通じて、多年にわたり社会体育指導者として広く芳賀郡市民のスポーツ振興に貢献されたことから今回の表彰となりました。

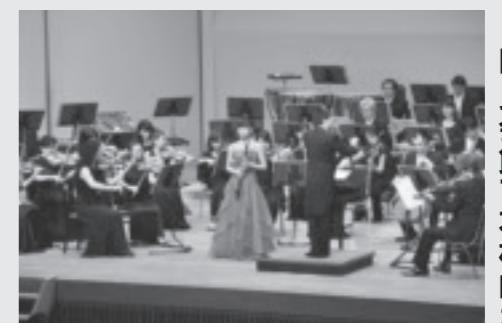


▲鮎田健司さん

芳賀町出身の大井剛史さんが指揮 町民会館で本格的なオーケストラ演奏会

7月17日、町民会館で芳賀町出身の指揮者・大井剛史さんが指揮するユーフィルハーモニー・オーケストラ千葉の演奏会が開催されました。

はじめに大井さんの指挥によるクラリネット奏者の柄閥志帆さん演奏のモーツアルトの「クラリネット協奏曲イ長調」など、観客は素晴らしく演奏に酔いしました。



さしすせそ料理教室

祖母井分館

「し」の塩つて?

7月30日、生涯学習センターで小学生対象のさしすせそ料理教室が開催され、今回は「し」の塩を勉強しました。町の管理栄養士さんから減塩のお話を聞き、食生活改善推進員さんに教わりながら、おにぎり、鶏のさうぼり煮、豆腐白玉入りフルーツポンチ作りに挑戦しました。子どもたちはお米研ぎからしよう油の計量まで、「一つ一つの作業に真剣に取り組みました。

はじめて参加した子は「プロッコリーが苦手だったけど、自分で作ったから食べたよ」と嬉しそうに話してくれました。



みんなでカレーを作ったよ

園で採れたジャガイモで

祖母井保育園

8月8日、年長さん29人がカレー作りに挑戦しました。カレーに入れたジャガイモは、保育園でみんなが収穫したジャガイモ。ほとんどの子が包丁や皮引きを触るのもはじめてでしたが、先生に教わりながら、慎重に皮をむいて、野菜を切つて…みんなすぐに上手になりました。「もうと切りたい!」「玉ねぎが目にしめる」とはじめての料理を楽しみました。

完成したカレーはとてもおいしくて、みんな何回もおかわりをし、お鍋もおかまも空っぽになりました。

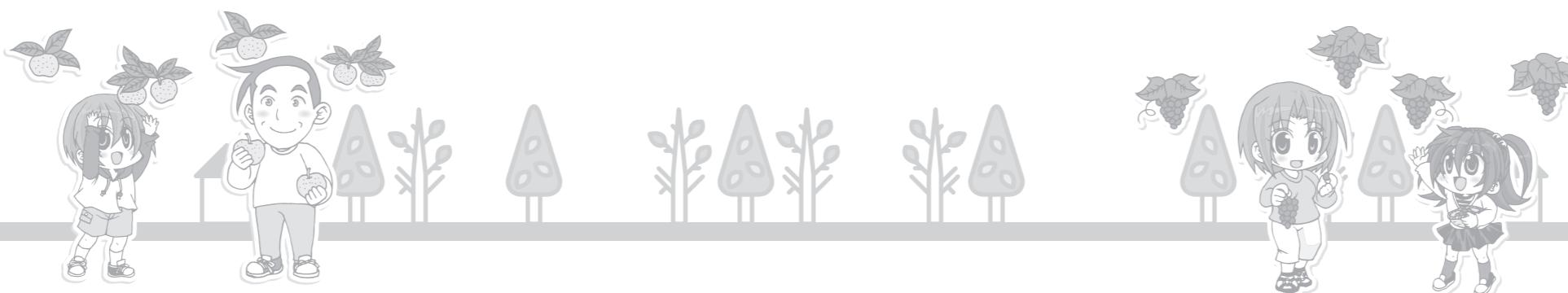


拓本うちわを作りました

南高根沢分館

7月9日、とんがり教室で拓本のうちわ作りをしました。

拓本のうちわ作りをしました。なす風土記の丘資料館の学芸員さんの指導を受けながら、縄文土器や奈良時代の瓦の上に和紙を置き、炭でなぞって模様を写しました。このあと、模様をつけた和紙に骨をつけてうちわを完成させました。「おうちの人をあおいであげるんだ」と子どもたちは大満足でした。



タウンレポート
Town Report